

雲

二年 画数 12
筆順 雨 雲 雲 雲
オン ウン
クモ

成り立ち



「くも」のかたちをあらわした「云」に、「雨(年4)」をくわえた字ですが、「くも」をあらわした字です。
「くも」は「雨」をふらせるもとなので、「雲」という字につくられました。むかしは、ただ「云」だけで「くも」のいみにつかわれました。

「云が「雲」になったのは、「云」が「言う」の意味に使われるようになったから、混同をさけるために雨を加えたものであろう。今の中国では、元にもどって雲を「云」としている。」

使い方

▽青空に白雲がうかんでいるところは、まるでえのよう
にきれいでした。
▽月に雲がかかって、あたりはまっくらになりました。
▽雨雲は、雨をふらせる雲です。雨雲がでてきたら、か
さのよういをしなければなりません。

熟語例

▽白雲(白い雲)
▽青雲(青い空に、たかくかかっている雲。または、雲
がうかんでいる、たかい空のことをさします。「青雲の
ころろざしをいだいて、上きようする」といえば、「し
ゆつせして、たかみぶん」のぼろうとおもって、と
うきように行く」といういみになります。)
▽風雲(風と雲。「風雲児」といえば、ぼうけんしんのあ
る、いさましい男の人のことをいいます。なぜかとい
うと、りゆうというどうぶつが、風と雲にのって、天
までのぼると、むかしの人は、かんがえていたからで
す。りゆうは、どうぶつの中でも、いちばんえらい、
すばらしいものでしたから、ぼうけんしんのある、い
さましい男の人を、りゆうにたとえたのです。)

園

二年 画数 13
筆順 冫 囗 尢 尢 尢 尢 尢 尢 尢 尢 尢 尢 尢 尢
オン エン
その

成り立ち



死(その)のいみをかりた「哀」と、囗(年553)のい
みをあらわした「囗」とを組み合わせて作った字で
「囲いのある苑(その)」をあらわした字です。

「花ぞの」のことを中国ではエンといました。その
エンをあらわした字が「苑」です。これに囲いをしたの
が「園」ですが、今では、同じようにつかわれています。
また、「にわ」のいみや、「やさいや花をうえた畑」のこ
ともつかわれます。例 菜園。

「哀は、丈の長い衣に、還ることを祈って環(○)型の
玉を縫い込めたものである。音のエンは、環の形が
であるのに因る。環はリングの幅が、穴の円の半径に長
さに等しいのが普通である。」

使い方

▽新田さんの庭園をはい見したが、それはそれは見事
でした。
▽わたしは「ひみつの花園」という本をよみました。か
ぎで閉ざされた古い花園の中で、みにくい意地のわる
い小さな女の子が、うつくしくかわいらしいむすめに
かわっていく、とてもおもしろいお話でした。

▽おとうさんは、日よう日になると、菜園作りにはげん
でいます。

▽わたしのすきな歌に、「園の小百合、なでしこ、垣根の
千草、きょうは汝れをながむるおわりの日なり」とい
うのがあります。にわの花にさようならをする、とい
ういみの、しつとりした歌です。

熟語例

▽庭園(庭のこと。とくに、よくけいかくして作った庭
をいいます。)
▽花園(花のさいている広い園。)
▽菜園(野菜畑)
▽田園(田や畑のある、いなかのこと。「田園都市」とい
えば、緑ゆたかな都市のことです。)